2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月４日

上 場 会 社 名　　三菱製鋼株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　5632　　URL　https://www.mitsubishisteel.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長執行役員　（氏名）　山　口　淳
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員経理部長　　（氏名）　赤　羽　俊　樹　（TEL）03(3536)3135
半期報告書提出予定日　　2026年11月６日　　配当支払開始予定日　　2026年12月10日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　証券アナリスト・機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	81,979	2.6	2,924	37.8	2,258	59.6	1,176	74.5
2026年３月期中間期	79,927	△0.7	2,121	△32.9	1,415	△14.9	674	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期 1,211百万円（　742.7%）　2026年３月期中間期　143百万円（　△86.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	77.74	―
2026年３月期中間期	44.59	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	144,516	57,166	34.0
2026年３月期	141,517	56,520	34.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　49,070百万円　　2026年３月期　48,682百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	40.00	―	41.00	81.00
2027年３月期	―	52.00			
2027年３月期(予想)			―	52.00	104.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	7.4	6,400	33.6	5,100	26.9	3,100	1.5	205.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	15,709,968株	2026年３月期	15,709,968株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	537,490株	2026年３月期	588,814株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	15,134,295株	2026年３月期中間期	15,120,892株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は、添付資料３ページ「１．当中間期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（会計方針の変更） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
（収益認識関係） …… 12
（重要な後発事象） …… 12
３．補足情報(連結) …… 13

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月～2026年９月）において、世界経済は中東情勢の長期化や米国の通商政策を巡る不透明感、インフレといった懸念材料がある一方、生成AI関連投資が成長を後押ししました。国内経済は緩やかな回復が見られたものの、中東情勢を背景とする原油価格の高騰や金利上昇等により、先行きに対しては慎重な見方が続きました。

このような事業環境の中、当社グループの主な需要先では、建設機械業界において、低迷していた需要が国内外で回復に向かい、底堅く推移しました。自動車業界では、自然災害や地政学リスクによるサプライチェーンの混乱が見られた一方、米国でのハイブリッド車需要や新興国を中心とした商用車需要が堅調に推移しました。また、安全保障分野やエネルギー関連等の当社グループが注力する成長分野では、日本政府の政策的な後押しもあり、需要が堅調に推移しました。

このような状況下、当中間連結会計期間の売上高は、売価改善が進んだ素形材事業および受注が好調な機器装置事業の伸長等により、前年同期比20億５千１百万円（2.6%）増収の819億７千９百万円となりました。営業利益は、売上増に加え、特殊鋼鋼材事業の損益が改善したことにより、前年同期比８億２百万円（37.8%）増益の29億２千４百万円となりました。

経常利益は、前年同期比８億４千３百万円（59.6%）増益の22億５千８百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比５億２百万円（74.5%）増益の11億７千６百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

特殊鋼鋼材事業の売上高は、前年同期比２億５千４百万円（0.7%）減収の374億５千１百万円となりました。インドネシア海外事業は売上数量の増加により増収となった一方、国内事業は前期に発生した室蘭コンビナートの高炉トラブル・火災事故の影響が第１四半期会計期間中に一部残ったため、特殊鋼鋼材事業全体では前年同期比横ばいとなりました。営業利益は、前年同期比５億５千３百万円増益の４億４千７百万円（前年同期は営業損失１億５百万円）となりました。前年同期は、室蘭コンビナート全体の数量減に伴う生産性の悪化により、損失を計上しました。今期は第１四半期に高炉トラブルおよび火災事故の影響が一部残ったものの、国内事業における売価改善が進んだことに加え、インドネシア事業における数量増や売価・コストの改善により、特殊鋼鋼材事業全体では増益となりました。

なお、高炉トラブル・火災事故については、５月下旬から通常操業に戻っており、その影響が解消しています。

ばね事業の売上高は、前年同期比５億７千７百万円（1.6%）増収の367億１千２百万円となりました。精密部品は、前期における顧客の量産立上げに伴う増産対応が一巡した影響を受けたものの、北米子会社の為替影響や国内における板ばねの売上数量増および自動車用ばねの新規量産品の立ち上がり等により、前年同期比横ばいとなりました。営業利益は、前年同期比４億４千５百万円（29.4%）減益の10億７千１百万円となりました。新規量産品の立ち上がりを含め数量増はあったものの、精密部品の数量減影響や中東情勢に係るコスト増影響が上回り、減益となりました。

素形材事業の売上高は、前年同期比10億２千６百万円（23.0%）増収の54億７千８百万円となりました。タイムラグが発生していた合金原材料価格上昇に伴う特殊合金粉末の売価転嫁が進捗したことや、精密鋳造品等の売上数量増により、増収となりました。営業利益は、前年同期比３億１千７百万円（108.1%）増益の６億１千１百万円となりました。精密鋳造品の数量増・売価改善および特殊合金粉末の売価改善により、増益となりました。

機器装置事業の売上高は、前年同期比９億８千４百万円（18.1%）増収の64億３千２百万円となりました。海外化学プラント向け塔槽機器や環境関連製品等の売上増により、増収となりました。営業利益は、前年同期比４億３百万円（134.2%）増益の７億４百万円となりました。売上増に加え、各種製品の生産性が向上したことにより、増益となりました。

なお、安全保障分野やエネルギー関連等の当社グループが注力する成長分野をはじめ、受注は堅調に推移しています。

その他の事業につきましては、流通及びサービス業等でありますが、売上高は、前年同期比１億５千５百万円

（8.1%）増収の20億８千２百万円、営業利益は、前年同期比１千６百万円（14.6%）減益の９千４百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて29億９千８百万円増加し、1,445億１千６百万円となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産が増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べて23億５千１百万円増加し、873億４千９百万円となりました。これは主に仕入債務等が増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて６億４千６百万円増加し、571億６千６百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益により増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローは、営業活動では23億５千万円の支出、投資活動では23億４千６百万円の支出、財務活動では３億８千８百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物は当中間連結累計期間に51億３千１百万円減少し、当中間連結会計期間末残高は119億９千２百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期連結業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

なお、業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,145	12,085
受取手形、売掛金及び契約資産	28,734	33,032
電子記録債権	2,903	3,938
商品及び製品	10,074	11,996
仕掛品	7,361	7,844
原材料及び貯蔵品	10,912	11,228
その他	5,147	4,452
貸倒引当金	△61	△60
流動資産合計	82,218	84,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,186	8,237
機械装置及び運搬具（純額）	10,354	10,050
土地	15,172	14,899
リース資産（純額）	1,635	1,535
その他（純額）	2,737	3,658
有形固定資産合計	38,085	38,381
無形固定資産		
その他	569	849
無形固定資産合計	569	849
投資その他の資産		
投資有価証券	6,787	7,111
破産更生債権等	4,998	4,860
退職給付に係る資産	11,068	10,990
その他	1,551	1,462
貸倒引当金	△3,761	△3,657
投資その他の資産合計	20,643	20,767
固定資産合計	59,299	59,998
資産合計	141,517	144,516

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,198	16,078
電子記録債務	2,730	4,278
短期借入金	21,367	24,923
未払法人税等	431	841
未払消費税等	60	328
契約負債	1,305	1,101
その他	6,431	6,097
流動負債合計	47,525	53,650
固定負債		
長期借入金	22,037	18,659
役員退職慰労引当金	156	134
役員株式給付引当金	59	33
事業整理損失引当金	366	355
退職給付に係る負債	9,095	8,946
リース債務	1,886	1,779
長期未払法人税等	78	－
その他	3,790	3,788
固定負債合計	37,471	33,698
負債合計	84,997	87,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,003	10,003
資本剰余金	2,222	2,217
利益剰余金	35,635	36,179
自己株式	△1,619	△1,537
株主資本合計	46,243	46,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,415	1,648
為替換算調整勘定	△3,621	△3,874
退職給付に係る調整累計額	4,645	4,432
その他の包括利益累計額合計	2,439	2,206
非支配株主持分	7,837	8,096
純資産合計	56,520	57,166
負債純資産合計	141,517	144,516

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	79,927	81,979
売上原価	69,526	70,794
売上総利益	10,400	11,184
販売費及び一般管理費	8,278	8,259
営業利益	2,121	2,924
営業外収益		
受取利息	49	28
受取配当金	30	36
持分法による投資利益	10	14
その他	272	130
営業外収益合計	363	209
営業外費用		
支払利息	647	580
為替差損	242	84
その他	179	210
営業外費用合計	1,069	875
経常利益	1,415	2,258
特別利益		
投資有価証券売却益	58	－
補助金収入	379	－
特別利益合計	437	－
特別損失		
固定資産圧縮損	366	－
事業整理損失引当金繰入額	1	－
特別損失合計	367	－
税金等調整前中間純利益	1,484	2,258
法人税、住民税及び事業税	534	784
法人税等調整額	106	△65
法人税等合計	641	718
中間純利益	843	1,539
非支配株主に帰属する中間純利益	169	363
親会社株主に帰属する中間純利益	674	1,176

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	843	1,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	338	229
為替換算調整勘定	△923	△319
退職給付に係る調整額	△103	△228
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△10
その他の包括利益合計	△699	△328
中間包括利益	143	1,211
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	176	943
非支配株主に係る中間包括利益	△32	267

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,484	2,258
減価償却費	1,824	1,712
貸倒引当金の増減額（△は減少）	254	△103
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△90	75
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△13	△76
事業整理損失引当金の増減額（△は減少）	13	△10
受取利息及び受取配当金	△80	△64
支払利息	647	580
為替差損益（△は益）	104	261
補助金収入	△379	－
固定資産圧縮損	366	－
持分法による投資損益（△は益）	△10	△14
固定資産処分損益（△は益）	22	13
投資有価証券売却損益（△は益）	△58	－
売上債権の増減額（△は増加）	601	△5,598
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△337	138
棚卸資産の増減額（△は増加）	2,365	△3,022
未収入金の増減額（△は増加）	△366	67
仕入債務の増減額（△は減少）	140	2,663
その他	△1,487	△584
小計	5,002	△1,703
利息及び配当金の受取額	80	64
利息の支払額	△688	△590
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△848	△120
訴訟損失の支払額	△675	－
受取補償金の受取額	668	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,539	△2,350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	△94
定期預金の払戻による収入	24	24
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	94	－
有形固定資産の取得による支出	△1,270	△1,926
有形固定資産の処分による支出	△21	△14
有形固定資産の売却による収入	4	39
無形固定資産の取得による支出	△24	△370
貸付けによる支出	△12	△2
貸付金の回収による収入	13	2
長期前払費用の取得による支出	△0	△0
差入保証金の回収による収入	675	－
その他	4	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△525	△2,346

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△64	3,859
長期借入金の返済による支出	△3,895	△3,617
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	1	81
非支配株主への配当金の支払額	△13	△13
リース債務の返済による支出	△55	△64
配当金の支払額	△525	△633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,552	△388
現金及び現金同等物に係る換算差額	△114	△46
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,652	△5,131
現金及び現金同等物の期首残高	16,141	17,123
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,488	11,992

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当する事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当する事項はありません。

（会計方針の変更）

該当する事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	(注1)		(注2)	(注3)
売上高								
外部顧客への売上高	33,302	36,122	4,319	5,315	867	79,927	―	79,927
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,403	12	132	133	1,059	5,741	△5,741	―
計	37,706	36,135	4,452	5,448	1,927	85,668	△5,741	79,927
セグメント利益又は損失（△）	△105	1,517	293	300	110	2,116	5	2,121

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

２．売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	(注1)		(注2)	(注3)
売上高								
外部顧客への売上高	32,704	36,711	5,279	6,283	1,000	81,979	―	81,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,747	1	198	148	1,082	6,178	△6,178	―
計	37,451	36,712	5,478	6,432	2,082	88,157	△6,178	81,979
セグメント利益	447	1,071	611	704	94	2,928	△4	2,924

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

２．売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)　　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注）	
売上高						
日本	27,924	12,276	1,906	4,005	867	46,981
北米	43	15,476	280	194	－	15,995
アジア	5,334	8,242	1,561	581	－	15,720
欧州	－	109	570	533	－	1,212
その他	－	16	－	－	－	16
顧客との契約から生じる収益	33,302	36,122	4,319	5,315	867	79,927
外部顧客への売上高	33,302	36,122	4,319	5,315	867	79,927

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)　　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注）	
売上高						
日本	26,682	13,166	2,402	4,313	1,000	47,566
北米	96	16,292	299	35	－	16,723
アジア	5,925	7,116	1,935	1,252	－	16,229
欧州	－	117	641	682	－	1,441
その他	－	19	－	－	－	19
顧客との契約から生じる収益	32,704	36,711	5,279	6,283	1,000	81,979
外部顧客への売上高	32,704	36,711	5,279	6,283	1,000	81,979

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

（重要な後発事象）

該当する事項はありません。

３．補足情報(連結)

（金額単位＝百万円）

１．業績

	四半期累計期間				通期		
	前期	当期	前第２四半期比増減		前期実績	※当期予想	
	2025年４月-2025年９月	2026年４月-2026年９月		増減率(%)	2026年３月期	2027年３月期	増減率(%)
売上高	79,927	81,979	2,051	2.6	154,557	166,000	7.4
営業損益	2,121	2,924	802	37.8	4,788	6,400	33.6
経常損益	1,415	2,258	843	59.6	4,017	5,100	26.9
親会社株主に帰属する中間純損益	674	1,176	502	74.5	3,055	3,100	1.5
					※2026年５月13日公表		
１株当たり中間純利益	44.59	77.74			202.04	205.01	

２．四半期毎の業績推移

	前期（2026年３月期）				当期（2027年３月期）	
	第１四半期（4～6月）	第２四半期（7～9月）	第３四半期（10～12月）	第４四半期（1～3月）	第１四半期（4～6月）	第２四半期（7～9月）
売上高	38,113	41,814	36,526	38,104	40,567	41,411
営業損益	793	1,327	819	1,848	1,400	1,524
経常損益	204	1,210	890	1,712	1,253	1,004
親会社株主に帰属する中間純損益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△115	789	326	2,054	730	446

３．セグメント別売上高推移

	前期（2026年３月期）				当期（2027年３月期）	
	第１四半期（4～6月）	第２四半期（7～9月）	第３四半期（10～12月）	第４四半期（1～3月）	第１四半期（4～6月）	第２四半期（7～9月）
特殊鋼鋼材	18,656	19,050	12,409	14,790	17,642	19,809
ばね	17,712	18,422	20,863	19,204	19,364	17,348
素形材	2,021	2,430	2,501	2,880	2,631	2,846
機器装置	1,794	3,653	2,591	3,731	2,823	3,609
その他	960	967	859	925	1,039	1,042
調整額	△3,032	△2,709	△2,698	△3,428	△2,933	△3,244
合計	38,113	41,814	36,526	38,104	40,567	41,411

４．要約連結貸借対照表

科目	前期 2026年３月末	当期 2026年９月末	増減	科目	前期 2026年３月末	当期 2026年９月末	増減
流動資産	82,218	84,517	2,299	負債	84,997	87,349	2,351
現預金等	17,145	12,085	△5,060	営業負債	17,928	20,357	2,429
営業債権	31,638	36,971	5,332	有利子負債	43,405	43,583	178
棚卸資産	28,348	31,068	2,719	その他	23,663	23,407	△255
その他	5,085	4,392	△692				
固定資産	59,299	59,998	699	純資産	56,520	57,166	646
有形固定資産	38,085	38,381	295	株主資本	46,243	46,863	619
無形固定資産	569	849	279	その他の 包括利益累計額	2,439	2,206	△232
投資その他資産	20,643	20,767	124	非支配株主持分	7,837	8,096	259
資産合計	141,517	144,516	2,998	負債純資産合計	141,517	144,516	2,998